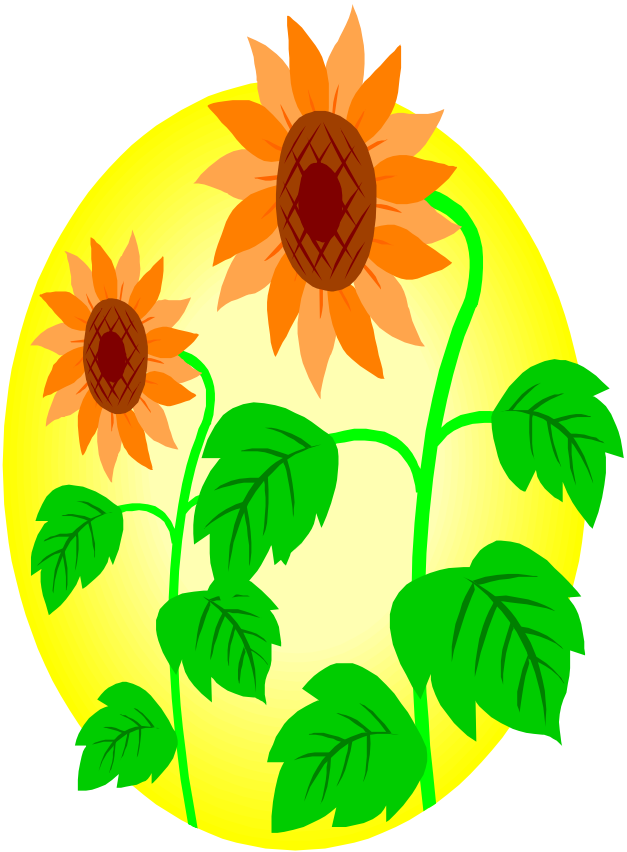
男女共同参画の視点からの表現ガイドライン

～～考えてみよう！その表現！！～～



平成２７年３月

熊　　谷　　市

はじめに

男女共同参画社会とは、男女が、互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわりなく、それぞれの個性と能力を十分に発揮し、あらゆる分野に対等に参画できる社会のことです。

本市では、男女共同参画を進めるための啓発を推進してきましたが、依然として性別による固定的な役割分担意識が根強く残っており、そうした意識を解消していくことが男女共同参画社会の実現に向けた課題となっています。

その課題解決のため、平成１７年１０月に施行した「熊谷市男女共同参画推進条例」では、第８条において「何人も、公衆に表示する情報において、性別による固定的な役割分担及び配偶者に対する暴力等を助長するような表現並びに過度の性的な表現を行わないように努めなければならない。」と規定するとともに、「くまがや男女共同参画推進プラン」の主要課題の一つである「男女共同参画の意識づくり」の中に、「メディア等における男女の人権の尊重」を取り上げています。

ガイドラインのねらい

このガイドラインは、男女共同参画の視点に立って、どのような表現が問題になるか、より適切に表現するためにはどうしたら良いかを考える手がかりを提供することを目的としています。本市は、さまざまな情報を発信していますが、これらの情報は公共性が高く、市民意識に大きな影響を及ぼす可能性があるため、本市の刊行物発行のマニュアルとして表現ガイドラインを作成いたしました。

イラストや言葉など、視覚や聴覚に訴える表現は、人々の意識に大きな影響を与える力を持っています。広報では、伝えるべきすべての人々に、正確で効果的に、誤解なく伝えることが重要です。広報活動において男女共同参画の視点に立った表現をすることにより、男女共同参画社会の実現へ一歩前進することができるのです。

このたび作成いたしました「男女共同参画の視点からの表現ガイドライン」が、本市における広報活動の手引書として、広く活用いただけることを願っています。

ガイドラインの対象

このガイドラインは、本市が発信する広報紙、ポスター、パンフレット、ホームページ、テレビ、ラジオ、刊行物や、行事での挨拶などにおける文章、イラスト、写真、音声、映像などすべての情報が対象です。

～　考えてみよう！　その表現！！　～

１　男女のいずれかを排除したり、偏ったりしていませんか？

情報の受け手には女性も男性もいます。すべての人に平等に情報が伝わるように、男女両方を想定した表現をしましょう。また、登場人物が男女いずれかに偏らないよう心がけましょう。

（１）　女性にも男性にも伝わりますか？



サラリーマンが利用できます！



働いている人が利用できます！

★ 勤労者すべてを対象とした制度にもかかわらず、男性をイメージする言葉やイラストを使うと、女性は、自分は対象ではないと感じるかもしれません。

（２）男女が登場していますか？

従業員募集中！



従業員募集中！

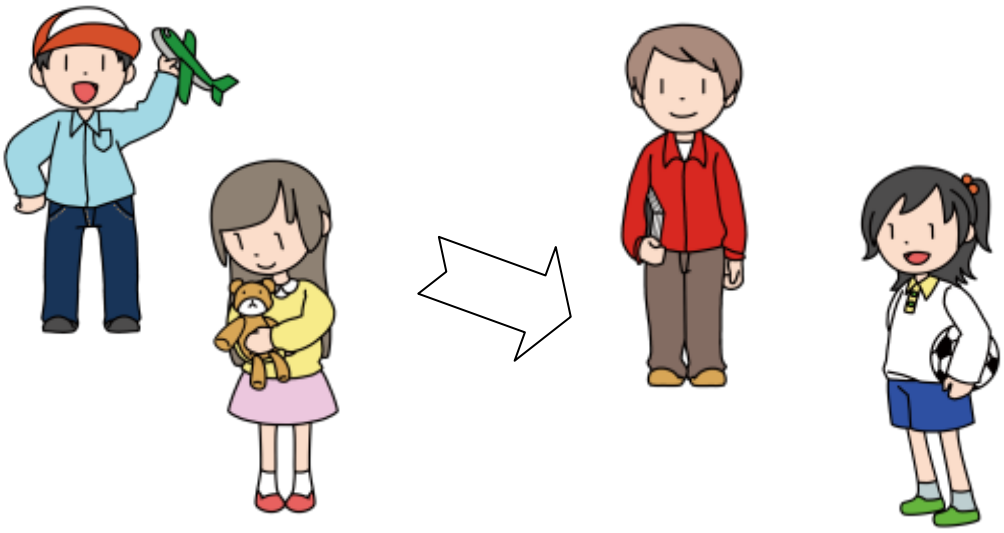


★女性も応募できる職種であっても、男性ばかりのイラストでは、女性が応募しにくい印象を与えるかもしれません。

２　必要以上に女性と男性を区別していませんか？

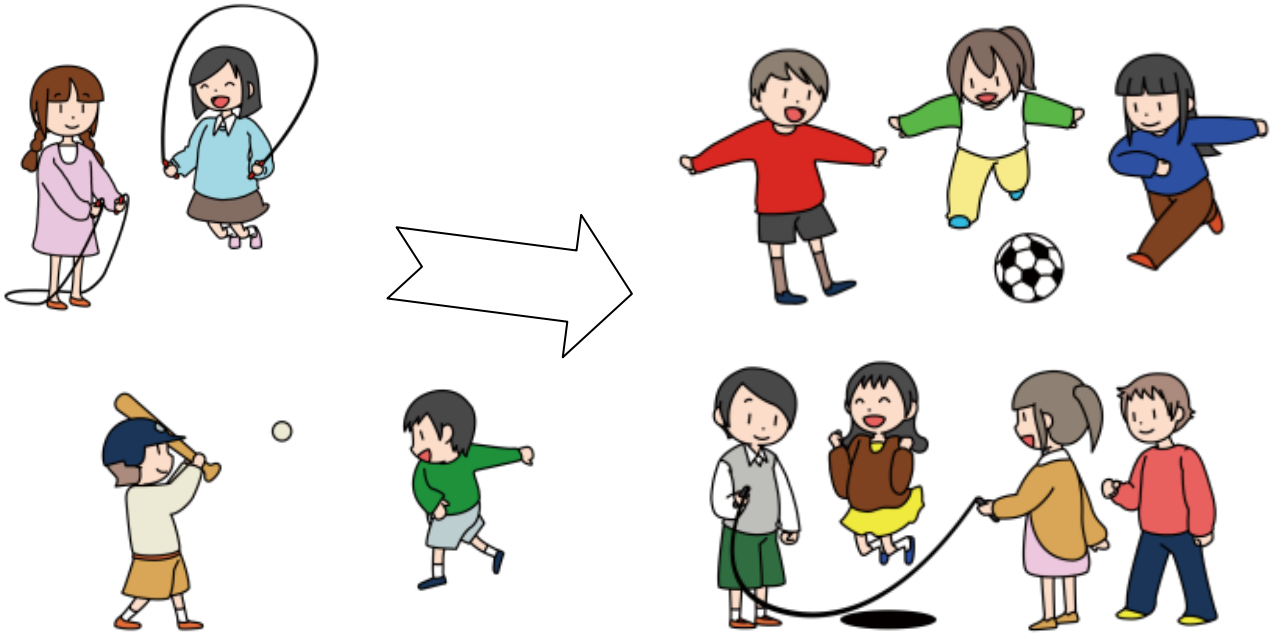
人は、性別にかかわらず個人として尊重されることが大切です。
必要以上に服装や興味・関心等で男女を区別しないようにしましょう。

（１）服装や外見が固定化されていませんか？



★ 性別によってイメージが偏っていませんか？
それぞれに個性があることを考慮して表現しましょう。

（２）　興味や関心が固定化されていませんか？

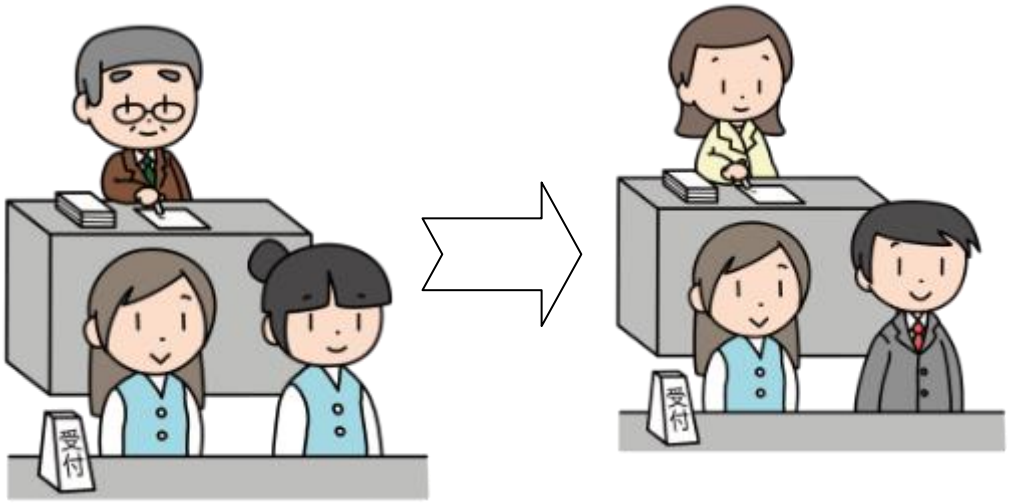


★興味や関心は多様です。
男性だから、女性だからという思い込みはありませんか？

３　男女を対等な関係で描いていますか？

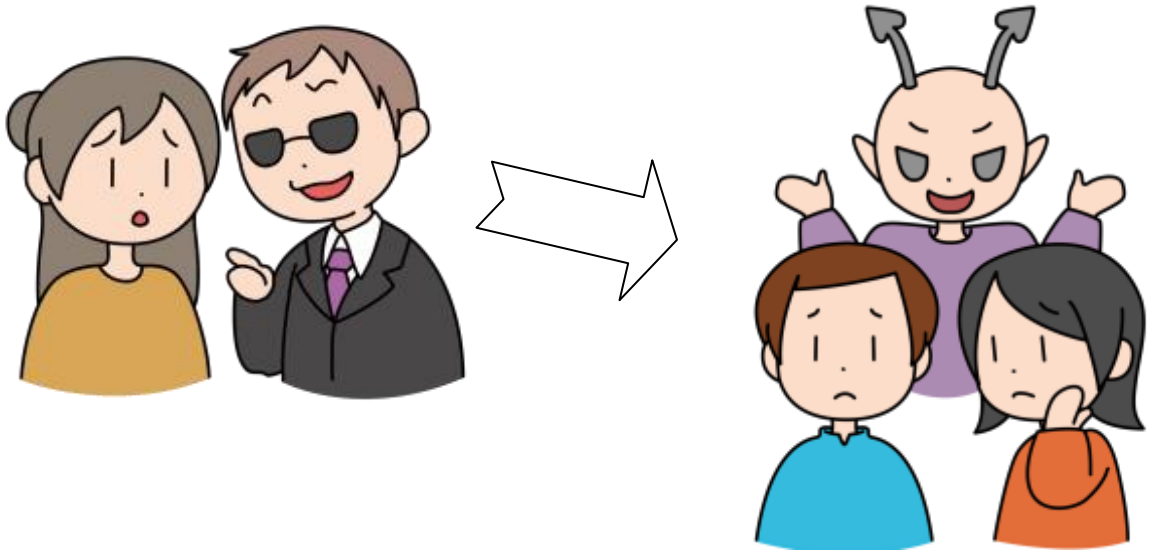
男女間に主従・上下・優劣・強弱の関係があるかのような印象を与える表現をしていませんか？男女対等な観点から表現しましょう。

（１）　男性がいつもリーダーでしょうか？



★ 常に、男性を中心的な存在・指導的な立場･守る側として、女性を周辺的な存在・従属的な立場・守られる側として描いていませんか？男女は対等で、地位や立場も様々であることを示す表現を心がけましょう。

（２）被害者はいつも女性でしょうか？

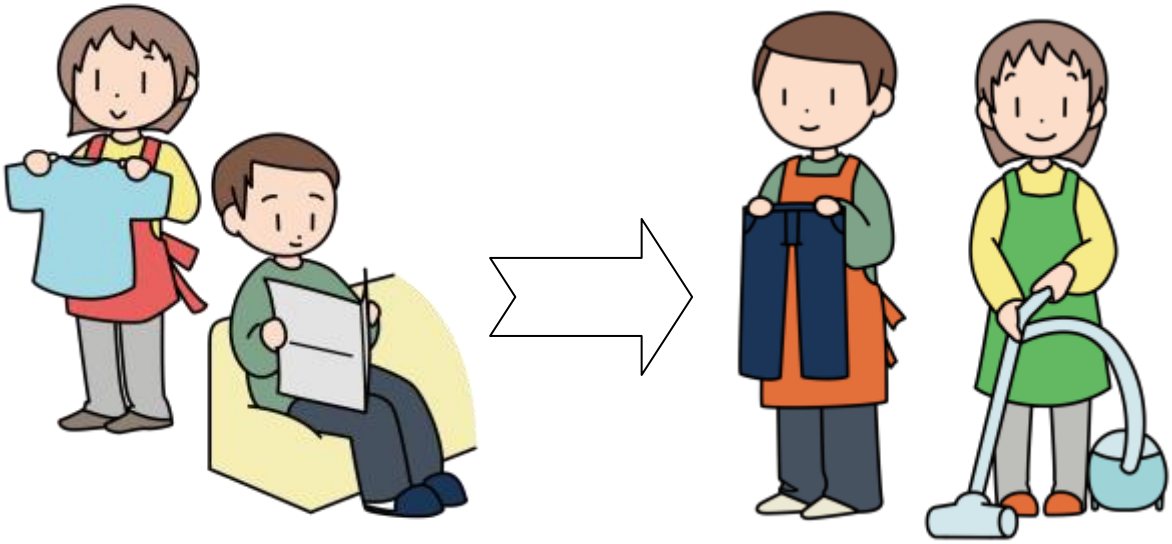


★加害者・強者を男性、被害者・弱者を女性で表すのではなく、内容に応じて様々な表現を工夫しましょう。

４　性別によってイメージを固定化していませんか？

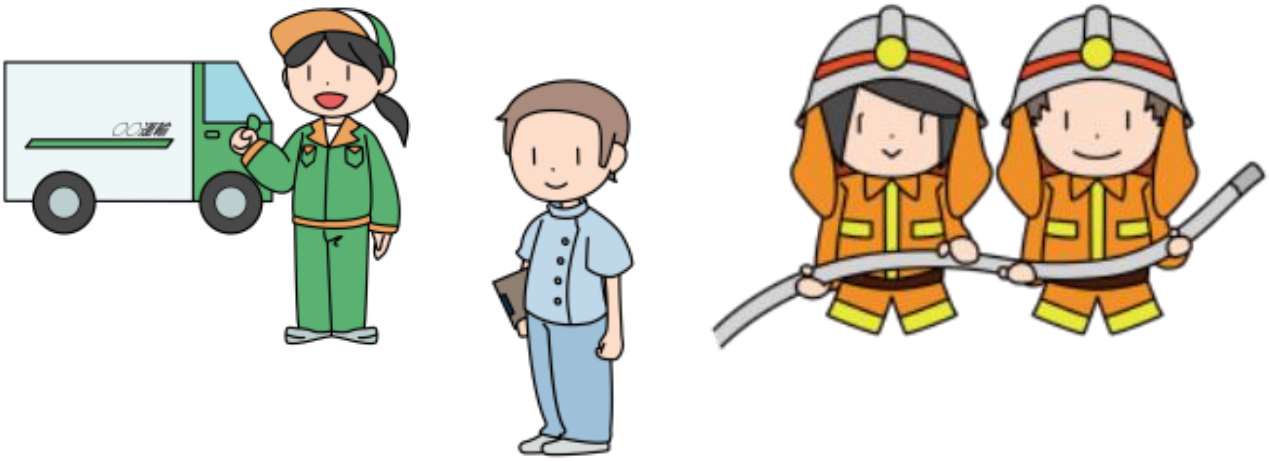
性別による固定的な役割分担を強調したり、性別で職業を分けたりしていませんか？
固定的なイメージにとらわれない表現を心がけましょう。

（１）　男女を固定的に描いていませんか？



★ 男女をわかりやすく表現しようとするあまりに、役割分担がどちらか一方に偏った表現にならないようにしましょう。

（２）職種によって男女が固定されていませんか？



★これまでは女性(男性)のみだった職種にも今では性別の偏りをなくす名称が用いられるようになりました。どのような職種でも女性、男性の区別なく働いている姿を表現するようにしましょう。

５　男女で異なった表現を使っていませんか？

男女を必要以上に区別して表現することは、本来対等である関係を崩しかねず、性別に対する固定的なイメージを助長させる可能性があります。

（１）職業や地位に女性の場合だけ性別をかぶせていませんか？



『女医』？



『女性記者』？



『女流作家』？

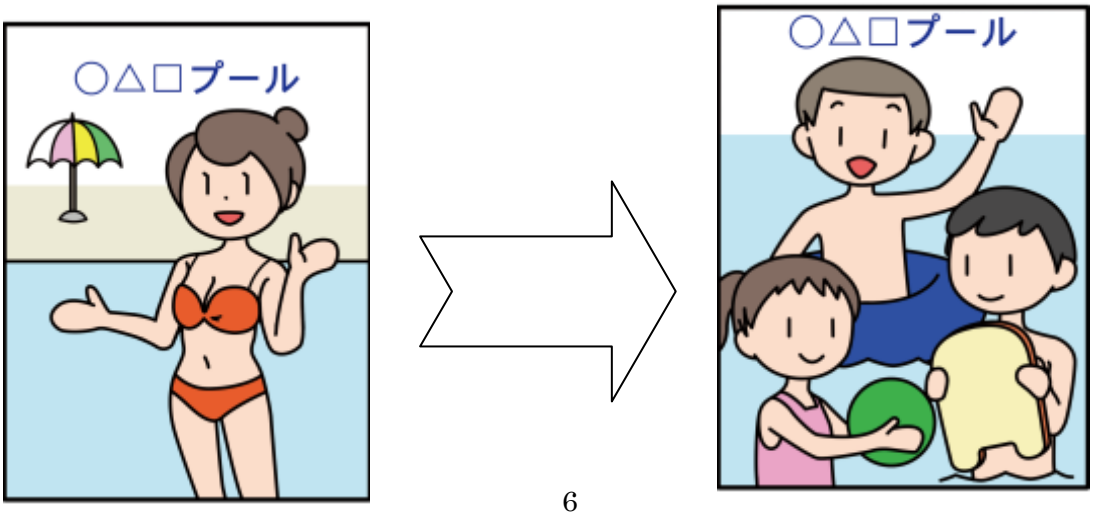
★女性であることをあえて示す必要がありますか？女性の場合だけ性別を冠するのは、女性が例外的・特殊であるという印象を与えてしまいます。

６　女性をむやみにアイキャッチャーにしていませんか？

アイキャッチャーとは、広告に注目させるための視覚的要素のことを言います。

伝えたい内容とは関係なく、人目を引くためにあえて女性を起用していませんか？安易なアイキャッチャーに頼ることなく、「誰に何を伝えたいのか」という原点に立ち戻って、より効果的な表現方法をとるよう工夫しましょう。

（１）　女性を飾り物として使っていませんか？



見直したい言葉と表現

ふだん何気なく使っている言葉や表現にも、男性を中心としてきた社会の仕組みや男女の役割分担意識が反映しているものがあります。 また、女性を例外的な存在とし、平等に扱っていないような不適切な表現も見受けられます。

不必要に性別を強調せず、固定的なイメージにしばられない表現を考えましょう。

見直したい表現	望ましい表現	見直しの理由
主人・旦那・亭主 奥さん・家内	夫・妻・つれあい・配偶者 パートナー	男性が主で女性を従と捉え、女性が補助的な役割をするというようなイメージを形成するため
内助の功 女房役	協力 補佐役	
良妻賢母・才女・未亡人	使わない	女性に対する表現のみで男性にはない表現の場合、女性に対する蔑視や偏見がふくまれていることがあるため
男勝り・女だてら・女々しい 女(男)のくせに・女の浅知恵	使わない	男性を優先させる表現であり、差別・偏見を生む表現であるため
OL・キャリアウーマン サラリーマン・ビジネスマン	会社員	男女両性を表す表現が望ましいため
カメラマン	写真家・撮影スタッフ	
スチュワーデス	ﾌﾗｲﾄｱﾃﾝﾀﾞﾝﾄ・客室乗務員	
行政マン	行政職員・公務員・自治体職員	
女流作家	作家	性別を強調したり、特別視したりすることにつながるため
女子アナ	アナウンサー	
看護婦	看護師	性別を限定する表現であったため、法律が改正され、両性が使用できる名称に変更された
保健婦	保健師	
保母・保父	保育士	
助産婦	助産師	

無意識のうちに、こんな表現をしていませんか？
日常的に使っていた言葉を見直して、表現を変えていきましょう。

●職場の花、美人〇〇など、職務などと無関係な女性の容姿を強調した表現。

●男性の敬称に「(姓)さん」、女性の敬称に「(名)さん」、男の子は「〇〇君」、女の子は「〇〇ちゃん」と呼び方が異なる表現

表現チェックシート

表示・印刷する前に、もう一度確認してみましょう。
女性から見ても、男性から見ても、違和感のない表現になっていますか？
固定的な表現になっていませんか？
担当者をはじめ複数の目でチェックしてみましょう。

チェックポイント	チェック欄
① 登場人物が男女どちらかに偏っていませんか？	
② 性別による固定的なイメージではなく、多様なタイプで男女を表現していますか？（服の色やデザイン、持ち物の色や好みなど）	
③ 中心的な役割を担うのを男性、補助的な役割を担うのが女性として表現していませんか？	
④ 男性、女性で役割を決めつけていませんか？ 家事・育児・介護をしているのは女性になっていませんか？	
⑤ 男女いずれにも使える言葉を使っていますか？	
⑥ 女性であることを強調する表現など、男女の扱いが異なる表現をしていませんか？	
⑦ 職業、スポーツ、学術、遊び等で、男女が固定化されていませんか？	
⑧ 内容に関係なく、人目を引くために女性を起用していませんか？	
⑨ 伝えたい内容が、誰が見ても分かりやすい表現になっていますか？	